看護部

看護部長
西本　京子
平成31年3月31日まで

看護部長
池田　仁美
平成31年4月1日から

国立病院機構の理念に沿った病院の使命を認識し、機構の看護職員として以下の役割を果たす

1. 機構及び病院の理念を踏まえた良質の看護サービスの提供に努める
2. 看護の質の向上を目指し、臨床看護の研究、業務の改善を行う
3. 良質な看護を提供するために、看護職員をはじめ看護に関係する職員の教育研修を行う
4. 看護の提供と経営効率の調和を図り、病院経営に参画する
5. チーム医療推進のための調整を図る
6. 地域住民への健康教育活動に参画する

□ 看護部の理念

私たちは、常に患者さんと共に歩み、
安心して納得のいく医療を受けていただくために、
わかりやすく丁寧な看護を提供いたします

□ 看護部の目標

【平成３０年度　看護部目標】

スローガン　「高い倫理観をもって、優しく丁寧に確実に」

1. 急性期医療を担う看護力の向上
2. 地域のニーズに応える看護連携の推進
3. 病院経営への積極的な参画
4. チームワークの強化・連携による働き方改革

□ 看護部の組織

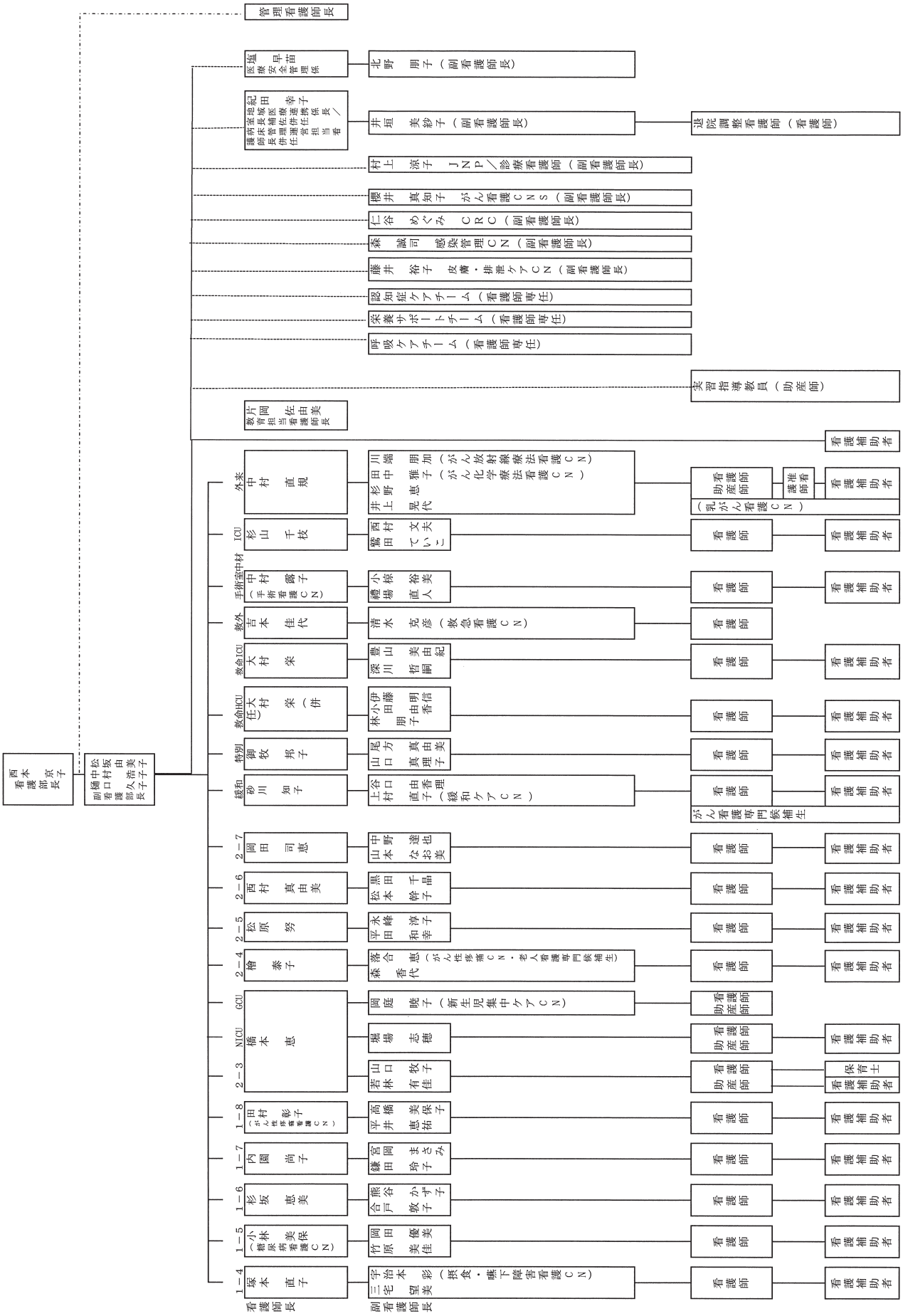
Ⅰ. 看護部組織図
（別紙１：看護部組織図）

Ⅱ. 看護部会議・委員会
（別紙２：看護部会議・委員会機能図）

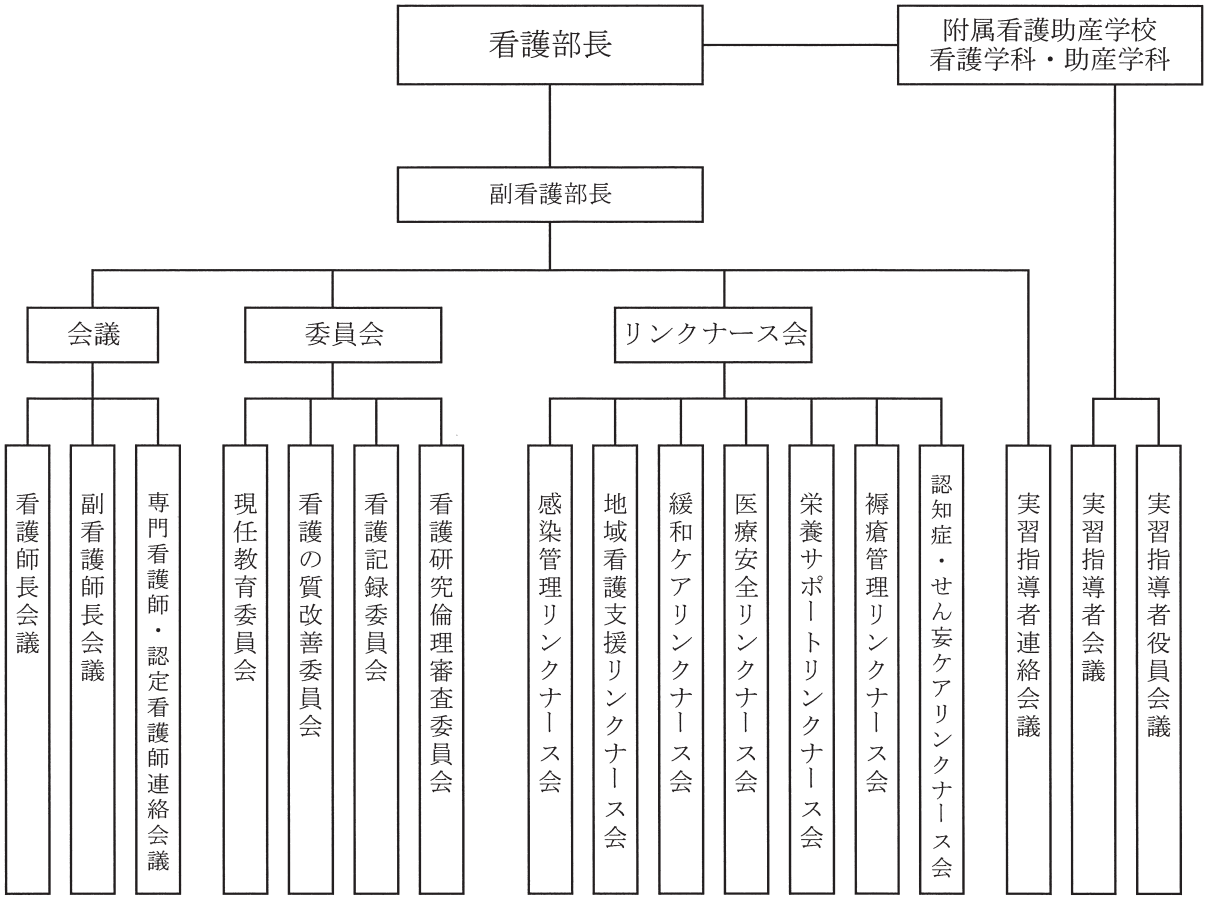
□ 看護部の活動

（別紙３：看護部の活動）

別紙１：看護部組織図


西本京子 看護部長
副看護部長 中口村坂松由久子子子子
管理看護師長
医療安全管理係 早苗
北野 朋子（副看護師長）
看護師長 地域連携室 医療安全管理係 幸子
井垣 美紗子（副看護師長）
退院調整看護師（看護師）
村上 涼子 JNP／診療看護師（副看護師長）
櫻井 真知子 がん看護CNS（副看護師長）
仁谷 めぐみ CRC（副看護師長）
森 誠司 感染管理CN（副看護師長）
藤井 裕子 皮膚・排泄ケアCN（副看護師長）
認知症ケアチーム（看護師専任）
栄養サポートチーム（看護師専任）
呼吸ケアチーム（看護師専任）
実習指導教員（助産師）
教育担当看護師長 片岡 由美
看護補助者
外来 中村 直規
井上 杉野 晃代 田中 雅子 川端 朋加 （がん化学療法看護CN）
（乳がん看護CN）
助産師 看護師 准看護師
ICU 杉山 千枝
鷲田 西村 文子 いこ
手術室中材 （手術看護CN） 中村 露子
礒場 小椋 裕美 直人
救外 吉本 佳代
清水 克彦（救急看護CN）
救命ICU 大村 栄
深川 豊山 哲嗣 美由紀
救命HCU （任）大村 栄（併）
林 小伊藤 朋子 香侑 由男
特別 御牧 邦子
山口 尾方 真理子 真由美
緩和 砂川 知子
上村 谷口 直子 香理 （緩和ケアCN）
がん看護専門候補生
2－7 岡田 司恵
山本 中野 なお 達也 美
2－6 西村 真由美
松本 黒田 幹子 千晶
2－5 松原 努
平永 田峰 和幸 淳子
2－4 檜 泰子
森落合 香代 恵（がん性疼痛CN・老人看護専門候補生）
GCU
2－3 NICU 橋本 恵
岡庭 暁子（新生児集中ケアCN）
助看護師
堀場 志穂
若林 山口 有佳 牧子
保育士
1－8 （がん化学療法看護CN） 田村 彰子
平井 高橋 恵祐 美保子
1－7 内園 尚子
鎌田 宮岡 玲子 まさみ
1－6 杉坂 恵美
合戸 熊谷 敦子 かず子
1－5 （糖尿病看護CN） 小林 美保
竹原 岡田 美佳 優美
1－4 塚本 直子
三宅 谷治本 望美 彩（摂食・嚥下障害看護CN）
副看護師長

別紙２：看護部会議・委員会組織図（機能図）



看護部が関わる主な病院諸会議

○管理診療会議
○経営企画・業績評価委員会
○サービス向上委員会
○薬事委員会・医療材料委員会
○診療報酬管理委員会
○病床管理委員会・小委員会
○外来管理委員会
○手術室運営委員会
○集中治療室運営委員会
○救命救急委員会
○緩和ケア運営委員会
○地域医療連携委員会
○褥瘡対策委員会
○栄養管理委員会・NST委員会
○倫理委員会・小委員会
○透析委員会・小委員会
○臨床検査委員会
○輸血療法委員会・小委員会
○化学療法委員会
○医療安全管理委員会
○医療事故対策委員会
○リスクマネージャー会
○院内感染対策委員会
○災害対策委員会　・小委員会
○医療機器安全管理委員会
○医療情報委員会・小委員会
○クリティカルパス委員会
○広報委員会
○安全衛生委員会
○過半数代表者会議・選出選挙委員会

別紙３：看護部委員会活動状況

	委員会名	活動目標	活動計画
委員会	現任教育	1．ラダー別研修計画の企画運営ができ、研修生が到達目標を達成することができるよう支援する 2．集合教育と機会教育の連携を強化し、教育体制を充実させる。 3．キャリアアップと離職防止につながる支援を行う。	1. 看護職員能力開発プログラム到達目標に沿った集合研修の企画運営と評価 2. 機会教育における研修前、研修後の計画的な支援と指導者への周知 3. 質の高い看護職員の確保・看護職員の離職防止に向けた活動
	看護の質改善	1．看護手順の見直しを行い、看護実践に活用できる 2．身だしなみ・マナー・接遇基準を周知徹底し実践できる 3．退院時アンケートの内容を分析・評価し、看護の質に活用できる	1.「治療を受ける患者の看護手順」と「日常生活援助の看護手順」の一部改訂 2. 身だしなみ・マナー・接遇調査（5月・10月） 3. 退院時アンケート調査（6月・11月）
	看護記録	1. 看護記録記載基準・要領の活用 2. 看護過程の展開がわかる記録記載 3. 看護記録の質を高める	1. 看護記録記載要領の効果的な活用を促す 2. テンプレートの活用と整理 1. 記録要領を踏まえた、看護記録の事例検討（急変） 2. 看護過程の展開と継続看護 1. 標準看護計画追加・活用 2. 看護記録監査 3. テンプレートの修正と新規作成
	看護研究倫理審査	1. 看護研究の倫理審査を行う 2. 看護研究能力向上への支援を行う	看護研究倫理審査小委員会の開催
チーム会	感染管理チーム	1．感染症のアウトブレイクを防止するために、院内感染対策マニュアルを遵守できる 2．感染防止の視点で環境整備ができる 3．ICTの活動について理解し、自部署の感染対策に協働できる。	1-1. 手指衛生遵守への取り組み 1-2. インフルエンザ、ノロウイルス対策の周知 2-1. 環境ラウンド 2-2. 環境整備への課題抽出と改善への取り組み 3-1. ゴージョー使用量データ収集及び各種調査
	地域看護支援チーム	1．各病棟の退院支援の現状分析から課題を明らかにして、時期をのがさず退院支援ができる 2．院内・院外の連携・協働を推進する地域包括ケアシステムの考え方をベースに外来・病棟看護師の役割を拡大する	1. 退院前後訪問の実践 2. 退院支援ファイルの見直し 1. 京都南部地域連携交流会参加 2. 地域連携支援センター院内留学 3. 訪問看護ステーションの実習
	緩和ケアリンクナース会	1．がん患者の心身の苦痛に対する評価ができ、看護介入できる 2．非がん患者も含めた緩和ケアの質の向上をはかる	1．STAS-Jでの心身の苦痛に対する評価 2．がん患者指導管理料の確実な取得および心理的サポートへの看護介入 2．症状緩和、意思決定支援・ＡＣＰ
	医療安全チーム	1．患者誤認事故防止策の実施 2．薬剤関連事故防止策の実施 3．転倒転落事故防止策の実施	1. 患者誤認事故防止手順の周知 2. 患者誤認事故防止手順の自己監査及び他者監査 3. 患者誤認事故の発生要因分析 1. 薬物療法看護手順の周知 2. 薬物療法看護手順の自己監査及び他者監査 3. 薬剤関連事故の発生要因分析 1. ピクトグラムの活用推進 2. 離床センサーの適正使用 3. 転倒転落事故の発生要因分析
	栄養サポート看護チーム	1．摂食機能療法についての知識・技術を習得し、実践力向上を図ることができる。 2．摂食機能療法算定件数を昨年度より増加することができる。	1. 摂食機能療法実施状況の共有 2-1. 摂食機能療法の対症患者の抽出と看護計画の立案、ケア実践 2-2. 摂食機能療法についての技術習得
	褥瘡管理チーム	1．スタッフが正しくポジショニングを身につけ実践できる 2．リスク評価ができ、マニュアルを活用した個別性のある看護計画立案と実践ができる	1-1. ポジショニング指導者の育成 1-2. マニュアルを活用しての勉強会の実施 2-1. 褥瘡に関するマニュアルの周知方法の検討と使用の徹底 2-2. リスク評価後の看護計画立案状況調査 2-3. 褥瘡派生、予防カンファレンスの継続
	認知症・せん妄ケアチーム	1．認知症ケアマニュアルおよび認知症・せん妄ケア標準看護計画の活用推進 2．認知症・せん妄患者個々に適切なケア提供ができる 3. 適切に認知症ケア加算が取得できる	1. 認知症ケアマニュアルの活用、認知症ケアラウンド 2. せん妄リーフレットを活用したせん妄予防に対する標準ケアの確立と事例検討会 3. 看護記録監査による認知症ケア加算取得の適切性の評価および改善点の明確化
連絡会	専門看護師・認定看護師連絡会	1．組織横断的な活動を行い、実践や集合教育を通して当院の看護実践力の強化する 2．院内外に向けた広報活動ができる	1. セミナーや院内研修・学習会の企画・運営・評価 2. 院内の情報や、病棟管理者のニーズを把握して、OJTの活動を増やす 3. ポスター、ホームページの更新、連絡会が企画する学習会の広報

平成30年度　病院目標　：　経営基盤の安定化と地域のニーズに応える高度急性期医療の推進

平成30年度　看護部スローガン「高い倫理観を持って　優しく丁寧に確実に　」

看護部目標	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	2-3	NICU/GCU	2-4	2-5	2-6	2-7
急性期医療を担う看護実践力の向上	1. 1)専門的知識を深め、安全・安心の看護が実践できる。 2)集合研修と機会教育の連携を充実さ	1. 急性期の状態変化を予測できるアセスメント能力を身につける	1. 疾患の理解と確実な看護技術に基づいた安全で専門性の高い看護の提供	1. 消化器疾患を担う看護実践力の向上	1. チーム力により実践力を高め、アセスメント力を向上させる	1. 急変予測とフィジカルアセスメントを強化し、急性期医療に対応できる看護の提供	1. ハイリスク新生児とその家族に対する看護実践能力の向上を図る	1. 脳神経疾患及び内分泌疾患の専門性を発揮できるよう看護実践能力を強化し、個々の患者に適切な看護を提供す	1. 急性期医療に対応できる看護技術の習得と、整形外科看護実践能力の強化ができる	1. 急性期看護の基礎看護力を向上する	1. 根拠に基づいた循環器看護が実践できる人材の育成
地域のニーズに応える地域連携の推進	2. 入院時より退院を見据えた看護介入を実践し、地域との連携を強化する	2. 入院時から多職種と連携し、積極的に介入し効果的な退院支援を実施する	2. 患者の意思決定を尊重した、退院支援の強化	2. 入院時、退院後の生活を踏まえたカンファレンスの充実と地域連携の推進	2. 患者、家族が望む療養場所で過ごせるよう、多職種と協働し退院支援を充実させる。	2. 入院支援センターと連携し、個別性に応じたスムーズな退院支援	2. 継続した退院支援を行い、地域連携へとつなげることができる	2. 多職種と連携し、患者が安心して退院できるよう支援できる	2. 地域及び、多職種間連携を強化し、退院支援が推進できる	2. 多職種との連携を強化し、入院前から患者・家族の希望する退院後の生活を見据えた支援ができる	2. 多職種との連携強化により在院日数の短縮
病院経営への積極的な参画	3. 病院の経営方針を理解し、自科が担う役割を認識し効率的な病棟運営を行う	3. 経営に関する知識を高め、処置伝票の取り漏れをなくす .2)重症度、医療・看護必要度基準値の維持	3. 経営についての意識向上と、適切な病床管理・物品管理	3. 確実な処置入力と正確な重症度、医療・看護必要度入力	3. 効果的・効率的な病床管理による経営への貢献	3. 病床稼働率の安定を目指し、経営意識を持って病棟運営に参画	3. 医療物品の管理、処置漏れを防止、コスト削減が実施できる	3. 適切な病床運営とコスト意識をもち、病院経営に積極的に参画できる	3. 効率的な病床管理、経営意識の向上により、病院経営に参画できる	3. 適切な病床管理、看護必要どの正確な入力を行うことで病院経営に参画できる	3) 1)重症度、医療・看護必要度30%以上維持 .2)コスト漏れの削減
チームワーク強化・連携による働き方改革	4. 話しやすい職場風土をつくり、働きやすい職場環境の推進を行う	4. 固定チームナーシングを定着し、働きやすい環境をつくる	4. チーム力の向上と、何でも話せる職場作り	4. チーム医療の推進と労働環境の整備	4. 固定チームナーシングの強化によるチーム力の向上	4. 7診療科に対応できる看護業務の標準化とチームとの連携推進	4. 外来との連携を強化し、業務改善ができる	4. 固定チームナーシングの強化を図り、効率的で効果的な看護が実践できる	4. チームワーク強化、看護業務の見直しにより、働きやすい職場作りができる	4. コミュニケーションを活発に行い、チームワーク力を高め患者を思いやる看護ができる	4. 1)看護実践を通じての倫理観の育成 2)患者満足が得られる看護の提供

平成30年度　病院目標　：　経営基盤の安定化と地域のニーズに応える高度急性期医療の推進

平成30年度　看護部スローガン「高い倫理観を持って　優しく丁寧に確実に　」

看護部目標	特別室個室	緩和	ICU	HCU	救外	手術室	集中治療室	外来	地域医療連携室
急性期医療を担う看護実践力の向上	1．全診療科に対応できる急性期看護実践力の向上	1．根拠に基づいた看護実践力を高め、アセスメント能力の向上を目指す	1．救命救急センターICU入院患者の満足度を高める看護実践力の向上	1． 1）集中治療領域における看護実践力の強化 2）倫理的観点の基づいた看護の提供ができる	1．救急外来受診患者の満足度向上を目指した看護実践の強化	1．根拠を持った質の高い看護ケアの提供	1．機会教育の充実と看護実践力の強化	1． 1）急性期医療を担う外来看護実践力の向上 2）看護倫理に基づいた看護の実践	1．入退院支援の実践力の向上
地域のニーズに応える地域連携の推進	2．入院時より退院を見据えた多職種と連携した看護介入	2．緩和ケア外来を通し、院内・院外との連携強化とシステム構築	2．地域医療構想の中で三次救急病院としての役割を発揮する	2．入院時から退院後の生活を視野に入れた看護の実施と一般病棟との連携の強化	2．地域医療構想の中で三次救急病院としての役割を発揮する		2．病棟との連携強化による継続看護	2．病棟、地域社会福祉、訪問看護師との連携強化	2．多職種と連携・協働し入退院支援を行う
病院経営への積極的な参画	3．看護必要度30％以上を維持する病床管理	3．院内・院外との連携を強化し、病床利用率をあげる	3．特定集中治療管理加算料2の新要件にもとづいた病床管理	3．経営への意識を高め、物品管理や病床管理ができる	3．カテーテルを受ける患者への看護実践力の強化	2．多職種と連携をした効率的な手術室運営	3．特定集中治療室の重症度、医療・看護必要度に応じた病床運営と確実な診療報酬請求	3．管理加算算定への積極的な参画	3．正確な在宅関連算定と適切なコスト管理
チームワーク強化・連携による働き方改革	4．ベテラン看護師のキャリア支援	4．チーム力強化と働きやすい職場環境の整備をおこなう	4．医師・コメディカルと連携した早期リハビリ実践	4． 1）受け持ち看護師としての関わりの強化 2）働きやすい職場環境作り	4．医師・研修医・コメディカルとの連携強化	3．チーム力強化による環境改善	4．看護業務見直しと改善による時間外勤務の縮減	4．多職種との連携によるチームワーク強化	4．入院支援部門、救急受け入れ部門、後方連携部門に関わる連携室の多職種とのチーム医療により働きやすい環境を構築する

看護部院内発表

シンポジウム

4－1）	働きやすい職場作り	2病棟5階	長峰　淳子

口述発表

4－2）	タブレット端末を利用した患者満足度とその改善項目の抽出 ～V 字回復に向けて　外来部門（内視鏡）の取り組み～	内視鏡センター	北野　由美
4－3）	治療継続を望む終末期にある肺がん患者と妻への意思決定支援	1病棟8階	布施　克己

ポスター発表

4－4）	泌尿器がん患者の退院前退院後訪問を行ってみえたこと	1病棟5階	平野衣梨佳
4－5）	病床再編成に動じない！糖尿病看護の質を高めるために ～糖尿病看護教育ラダーの開発～	1 病棟6階	合戸　敦子
4－6）	呼吸器科病棟における看護師の口腔ケアに対する意識・行動の変化 ～歯科医師との協働による口腔ケア回診を実施して～	1 病棟8階	塩見　みず帆
4－7）	退院支援への取り組み ～退院前・退院後訪問を通して～	1病棟8階	上野　こむぎ
4－8）	看護学生が病棟のカンファレンスに参加することによる影響	1病棟8階	上田　彩子
4－9）	ハイリスク妊産婦連携指導料加算算定への取り組み	2病棟3階	吉川　麻衣
4－10）	NICU における物品の適正管理について ～SPD 物品コスト削減に向けて～	NICU	内山　優紀
4－11）	急性期病院における認知症ケアチームの活動と今後の課題	2病棟4階	落合　恵
4－12）	人工呼吸器管理の患者の退院調整	2病棟4階	佐藤　菜月
4－13）	チームカンファレンスの定着、充実にむけて	2病棟4階	中井　和香緒
4－14）	コストの算定漏れを減らすために ～スタッフの知識の向上と意識改革に向けて～	2病棟5階	藤川　宣也
4－15）	チームでの患者カンファレンスの導入	2病棟7階	下川　絵理奈
4－16）	カンファレンスでの情報共有体制の強化 ～ヒヤリ・ハット報告を始めて～	手術室	藤尾　未来
4－17）	アンギオ室の教育への取り組み ～はじめて教育ラダーを導入して～	救急外来	池本　知子
4－18）	当院における多数傷病者の受け入れ報告と今後の課題	救急外来	清水　克彦
4－19）	救急外来における診察時間短縮へ向けた取り組み	救急外来	北村　友香
4－20）	タスク・シフテイング！みんながハッピー☆☆ ～IV ナース導入による変化～	外来化学療法センター	田中　雅子
4－21）	入院支援センターの活動報告と今後の課題 ～円滑な業務運営のために～	地域連携支援センター	松岡　和子

4－22）	副看護師長会経営グループの取り組み	副看護師長会 経営グループ	竹原　美佳
4－23）	実習教員の役割と効果	看護部長室	田仲　有季子

看護部院外発表

第60回 近畿地区国立病院看護学会（ 10月13日）

口述発表

5－1）	転倒・転落防止への取り組み ～ピクトグラム導入後の現状と取り組み～	医療安全管理室	北野　朋子

ポスター発表

5－2）	嘔吐を繰り返すがん患者に対し、口腔内保清への介入 ～含嗽とブラッシングを通して～	1病棟6階	神崎　菜都実

第72回 国立病院総合医学会（11月9日～11月10日）

シンポジウム

5－3）	多様性を活かした組織づくり ～個を活かした人材活用～　子育てしながら働く者の立場から	2病棟4階	落合　　恵

ポスター発表

5－4）	安心して在宅を目指す看護 ～Let、s　連携～	1病棟4階	坂本　里佳
5－5）	硝子体手術後のうつむき安静による苦痛緩和への援助	1病棟5階	寺本　智美
5－6）	生活のしやすさに関する質問票の症状　7項目の数値の実態	1病棟6階	余頃　楓
5－7）	ナーシングガイドの使用状況と今後の課題 ～消化器内科の看護の質の向上を目指して～	1病棟7階	福田　繭子
5－8）	一般病棟で出来る緩和ケアを考える ～生活のしやすさの質問票を用いて～	1病棟8階	布施　克美
5－9）	新婚で子宮頸がんと診断された患者との関わり ～問題解決型危機理論を用いて～	2病棟3階	菅　柚貴
5－10）	急性期病棟における保育士の活動報告	2病棟3階	江戸川　志帆
5－11）	出生前診断で胎児異常を示唆された妊婦への妊娠期からの関わり ～Dr o tarの危機回復過程を用いて～	2病棟3階	塩川　紗衣
5－12）	当院 NICU における「低出生体重児における乳房からの哺乳行動の発達スケール（PIBBS）」の使用状況の実態調査	NICU	崎山　麻衣
5－13）	新生児の痛みのケアに対する実態調査	NICU	内山　優紀
5－14）	認知症患者のケア実践時における看護師の行動と心理	2病棟4階	泉谷　聖子
5－15）	看護師によるストーマ装具選択の過程を振り返り現状を明らかにする	2病棟6階	早川　智美
5－16）	手術室における医療安全の取り組み	手 術 室	瀧下　遥奈

5－17）	病院経営についての手術室の取り組み	手 術 室	禮場 直人
5－18）	手術室の新人教育 ～ステップアップ表を使用した効果～	手 術 室	松林 はるか
5－19）	適切な手技衛生のための取り組み	集中治療室	富田 有香
5－20）	グリーフケアとしての遺族への手紙の取り組み	緩和ケア	谷山 千賀子
5－21）	卒後教育における「急変前気づき研修」プログラムの評価	看護部長室	片岡 佐由美
5－22）	CT 画像診断の見落とし対策	医療安全管理室	塩 早苗
5－23）	転倒転落防止対策への取り組み ピクトグラム導入後の現状と効果	医療安全管理室	北野 朋子

第15回 国立病院看護研究学会学術集会

口述発表

5－24）	臨床推論能力の育成に向けた「急変前気づき研修」の評価 ～多職種と企画運営する演習を用いて～	看護部長室	片岡 佐由美

ポスター発表

5－25）	生活のしやすさに関する質問票の症状7項目の数値の変化の実態調査 ～入院1日目・7日目の評価を通して～	1病棟6階	神崎 菜都実

第38回日本看護科学学会学術集会

口述発表

5－26）	中間看護管理者が抱くやりがい感と負担感 ～役割および看護師の特性の検討～	看護部長室	村上 涼子

International Conference on Canser Nursing （ICCN 2018）（9月23日～9月26日）

ポスター発表

5－27）	Efficcy of the experience philosophical dialogue educadion program for to support canncer survivor	緩和ケア	坂井 みさき

第33回日本がん看護学会（2月23日～2月24日）

ポスター発表

5－28）	緩和ケア病棟看護師の専門的緩和ケア実践能力の実態と その関連要因～一看護師の対処能力の一面から～	緩和ケア	坂井 みさき

学術活動

6－1） メデイカ出版	消化器ナーシング 2019 春季増刊　通巻310号	第2章　やってみよう！ 消化器病棟の日常的ケア 1．ベットまわりの環境整備 2．手術前後のケア 4．チューブ・ドレーンの管理	2病棟6階	黒田千秋晶・松本幹子 今村美紀・田中美穂 手島麻貴・村山絢美 早川智美・飛鳥居朋子 北川真弓・櫻井実沙季 森冴子・川上早紀 山崎なつ子
6－2） メデイカ出版	消化器ナーシング 2019 春季増刊　通巻310号	第2章　やってみよう！ 消化器病棟の日常的ケア 3．内視鏡治療・検査前後のケア	1病棟7階	宮岡まさみ　青木優 都留江里子・富田咲 中藤佑香・藤澤里穂 前川詩歩・

FM845出演

7－1）紹介します。診療看護師の役割　　看護部長室　　村上　涼子

7－2）この冬、感染症にかからないために　　看護部長室　　森　誠司